

時系列グラフ

医科・DPC 全体・年齢階級別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	全体	<p>[医科・DPC] 全体 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] 全体 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.8 最大減少幅: -18.9</p>
2	0～14歳	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 0～14歳 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 0～14歳 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -21.9 最大減少幅: -43.5</p>
3	15～39歳	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 15～39歳 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 15～39歳 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.0 最大減少幅: -18.0</p>
4	40～64歳	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 40～64歳 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] 年齢階級別: 40～64歳 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.9 最大減少幅: -16.8</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	A04 その他の細菌性腸管感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A04 その他の細菌性腸管感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A04 その他の細菌性腸管感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.6 最大減少幅: -22.5</p>
2	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.9 最大減少幅: -22.4</p>
3	A41 その他の敗血症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A41 その他の敗血症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A41 その他の敗血症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.5 最大減少幅: -34.2</p>
4	A49 部位不明の細菌感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.2 最大減少幅: -21.0</p>
5	B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B00 ヘルペスウイルス [単純ヘルペス] 感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.4 最大減少幅: -30.2</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
6	B02 带状疱疹 [带状ヘルペス]	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B02 带状疱疹[带状ヘルペス] 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.2 最大減少幅: -13.3</p>
7	B18 慢性ウイルス性肝炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B18 慢性ウイルス性肝炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B18 慢性ウイルス性肝炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.8 最大減少幅: -35.9</p>
8	B35 皮膚糸状菌症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B35 皮膚糸状菌症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.8 最大減少幅: -17.9</p>
9	B37 カンジダ症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.3 最大減少幅: -26.5</p>
10	B48 その他の真菌症, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B48 その他の真菌症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B48 その他の真菌症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.4 最大減少幅: -29.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
11	B59 ニューモシスチス症 (J17.3*)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.6 最大減少幅: -22.4</p>
12	C16 胃の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C16 胃の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C16 胃の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.7 最大減少幅: -22.7</p>
13	C18 結腸の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C18 結腸の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C18 結腸の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.3 最大減少幅: -16.6</p>
14	C20 直腸の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C20 直腸の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C20 直腸の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.0 最大減少幅: -13.3</p>
15	C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C34 気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -29.5</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
16	C50 乳房の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C50 乳房の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.5 最大減少幅: -12.8</p>
17	C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C77 リンパ節の続発性及び部位不明の悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.1 最大減少幅: -24.4</p>
18	C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C78 呼吸器及び消化器の続発性悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.1 最大減少幅: -15.3</p>
19	C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C79 その他の部位及び部位不明の続発性悪性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.3 最大減少幅: -30.2</p>
20	C91 リンパ性白血病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C91 リンパ性白血病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C91 リンパ性白血病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.5 最大減少幅: -28.6</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
21	C92 骨髄性白血病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C92 骨髄性白血病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): C92 骨髄性白血病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
22	D25 子宮平滑筋腫	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D25 子宮平滑筋腫 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
23	D27 卵巣の良性新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D27 卵巣の良性新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
24	D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D48 その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
25	D50 鉄欠乏性貧血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): D50 鉄欠乏性貧血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
26	D64 その他の貧血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.7 最大減少幅: -21.8</p>
27	D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群]	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.7 最大減少幅: -39.1</p>
28	D68 その他の凝固障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.1 最大減少幅: -18.1</p>
29	D69 紫斑病及びその他の出血性病態	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.9 最大減少幅: -27.6</p>
30	D70 無顆粒球症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.5 最大減少幅: -16.8</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
31	D80 主として抗体 欠乏を伴う免疫不 全症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.9 最大減少幅: -43.0</p>
32	E03 その他の甲状 腺機能低下症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.5 最大減少幅: -21.7</p>
33	E11 2型<インス リン非依存性>糖 尿病<NIDDM>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E11 2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.0 最大減少幅: -12.9</p>
34	E14 詳細不明の糖 尿病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E14 詳細不明の糖尿病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E14 詳細不明の糖尿病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.7 最大減少幅: -14.6</p>
35	E46 詳細不明のタン パク<蛋白>エ ネルギー性栄養失 調(症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E46 詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E46 詳細不明のタンパク<蛋白>エネルギー性栄養失調(症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.5 最大減少幅: -17.0</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
36	E53 その他のビタミンB群の欠乏症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E53 その他のビタミンB群の欠乏症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.2 最大減少幅: -20.3</p>
37	E56 その他のビタミン欠乏症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E56 その他のビタミン欠乏症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E56 その他のビタミン欠乏症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.9 最大減少幅: -16.4</p>
38	E63 その他の栄養欠乏症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E63 その他の栄養欠乏症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E63 その他の栄養欠乏症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.4 最大減少幅: -17.6</p>
39	E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 9.9 最大減少幅: -2.7</p>
40	E72 その他のアミノ酸代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E72 その他のアミノ酸代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E72 その他のアミノ酸代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.6 最大減少幅: -16.8</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
41	E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E78 リポタンパク<蛋白>代謝障害及びその他の脂血症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.4 最大減少幅: -11.3</p>
42	E79 プリン及びピリミジン代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E79 プリン及びピリミジン代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.4 最大減少幅: -18.1</p>
43	E83 ミネラル<鈣質>代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E83 ミネラル<鈣質>代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.2 最大減少幅: -16.4</p>
44	E86 体液量減少(症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少(症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -18.7 最大減少幅: -29.6</p>
45	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.8 最大減少幅: -13.1</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
46	E88 その他の代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E88 その他の代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E88 その他の代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.4 最大減少幅: -24.9</p>
47	F06 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F06 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F06 脳の損傷及び機能不全並びに身体疾患によるその他の精神障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.1 最大減少幅: -6.6</p>
48	F10 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F10 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F10 アルコール使用<飲酒>による精神及び行動の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.4 最大減少幅: -14.6</p>
49	F20 統合失調症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.6 最大減少幅: -15.4</p>
50	F30 躁病エピソード	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F30 躁病エピソード 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F30 躁病エピソード 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.4 最大減少幅: -8.6</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
51	F31 双極性感情障害<躁うつ病>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害<躁うつ病> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F31 双極性感情障害<躁うつ病> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.5 最大減少幅: -16.0</p>
52	F32 うつ病エピソード	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F32 うつ病エピソード 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -17.7</p>
53	F41 その他の不安障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F41 その他の不安障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.6 最大減少幅: -16.1</p>
54	F43 重度ストレスへの反応及び適応障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F43 重度ストレスへの反応及び適応障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.6 最大減少幅: -17.9</p>
55	F45 身体表現性障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F45 身体表現性障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F45 身体表現性障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.9 最大減少幅: -26.1</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
56	F48 その他の神経症性障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F48 その他の神経症性障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.9 最大減少幅: -16.9</p>
57	F50 摂食障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F50 摂食障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F50 摂食障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.7 最大減少幅: -15.0</p>
58	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.1 最大減少幅: -5.6</p>
59	F84 広汎性発達障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.1 最大減少幅: -7.5</p>
60	G20 パーキンソン<Parkinson>病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G20 パーキンソン<Parkinson>病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G20 パーキンソン<Parkinson>病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.7 最大減少幅: -16.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
61	G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G21 続発性パーキンソン<Parkinson>症候群 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.7 最大減少幅: -11.8</p>
62	G40 てんかん	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G40 てんかん 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.0 最大減少幅: -15.0</p>
63	G47 睡眠障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G47 睡眠障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.3 最大減少幅: -13.3</p>
64	G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>-	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G62 その他の多発(性)ニューロパチ<シ>- 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.7 最大減少幅: -13.8</p>
65	G64 末梢神経系のその他の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): G64 末梢神経系のその他の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.0 最大減少幅: -11.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
66	G80 脳性麻痺	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.7 最大減少幅: -13.7</p>
67	G81 片麻痺	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G81 片麻痺 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G81 片麻痺 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.0 最大減少幅: -18.4</p>
68	G82 対麻痺及び四肢麻痺	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G82 対麻痺及び四肢麻痺 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G82 対麻痺及び四肢麻痺 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.2 最大減少幅: -13.8</p>
69	G83 その他の麻痺性症候群	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G83 その他の麻痺性症候群 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G83 その他の麻痺性症候群 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.3 最大減少幅: -18.4</p>
70	G91 水頭症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G91 水頭症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G91 水頭症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.6 最大減少幅: -17.2</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
71	G93 脳のその他の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G93 脳のその他の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G93 脳のその他の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.2 最大減少幅: -19.9</p>
72	G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G98 神経系のその他の障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.1 最大減少幅: -24.6</p>
73	H04 涙器の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.1 最大減少幅: -13.4</p>
74	H10 結膜炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.3 最大減少幅: -12.7</p>
75	H16 角膜炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H16 角膜炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.6 最大減少幅: -14.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
76	H35 その他の網膜障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H35 その他の網膜障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
77	H40 緑内障	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H40 緑内障 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
78	H52 屈折及び調節の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
79	I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性(原発性<一次性>)高血圧(症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
80	I20 狭心症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I20 狭心症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
81	I25 慢性虚血性心疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I25 慢性虚血性心疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I25 慢性虚血性心疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.9 最大減少幅: -28.7</p>
82	I47 発作性頻拍(症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I47 発作性頻拍(症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I47 発作性頻拍(症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.8 最大減少幅: -17.3</p>
83	I48 心房細動及び粗動	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I48 心房細動及び粗動 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I48 心房細動及び粗動 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.1 最大減少幅: -9.6</p>
84	I49 その他の不整脈	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I49 その他の不整脈 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.1 最大減少幅: -20.2</p>
85	I50 心不全	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.5 最大減少幅: -19.1</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
86	I60 くも膜下出血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I60 くも膜下出血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I60 くも膜下出血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.3 最大減少幅: -14.0</p>
87	I61 脳内出血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I61 脳内出血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I61 脳内出血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.6 最大減少幅: -9.3</p>
88	I63 脳梗塞	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I63 脳梗塞 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I63 脳梗塞 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.9 最大減少幅: -14.4</p>
89	I67 その他の脳血管疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I67 その他の脳血管疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I67 その他の脳血管疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.6 最大減少幅: -16.4</p>
90	I69 脳血管疾患の続発・後遺症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I69 脳血管疾患の続発・後遺症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I69 脳血管疾患の続発・後遺症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.0 最大減少幅: -11.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
91	170 アテローム<じゅく>状>硬化 (症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :170 アテローム<じゅく>状>硬化 (症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :170 アテローム<じゅく>状>硬化 (症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.4 最大減少幅: -27.0</p>
92	180 静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :180 静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :180 静脈炎及び血栓 (性) 静脈炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.3 最大減少幅: -9.2</p>
93	195 低血圧 (症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :195 低血圧 (症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :195 低血圧 (症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.7 最大減少幅: -26.3</p>
94	J02 急性咽頭炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :J02 急性咽頭炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :J02 急性咽頭炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -21.5 最大減少幅: -34.3</p>
95	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -34.6 最大減少幅: -53.2</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
96	J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -28.6 最大減少幅: -54.9</p>
97	J18 肺炎, 病原体不詳	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J18 肺炎, 病原体不詳 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -22.2 最大減少幅: -39.5</p>
98	J20 急性気管支炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J20 急性気管支炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -42.2 最大減少幅: -63.4</p>
99	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.3 最大減少幅: -25.1</p>
100	J32 慢性副鼻腔炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J32 慢性副鼻腔炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -15.6 最大減少幅: -34.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
101	J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.4 最大減少幅：-33.8</p>
102	J42 詳細不明の慢性気管支炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J42 詳細不明の慢性気管支炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-2.3 最大減少幅：-14.0</p>
103	J45 喘息	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-20.6 最大減少幅：-31.7</p>
104	J69 固形物及び液状物による肺臓炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J69 固形物及び液状物による肺臓炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J69 固形物及び液状物による肺臓炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.3 最大減少幅：-19.7</p>
105	J90 胸水，他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J90 胸水，他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J90 胸水，他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-6.1 最大減少幅：-18.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
106	J96 呼吸不全, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J96 呼吸不全, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.4 最大減少幅: -17.1</p>
107	J98 その他の呼吸器障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J98 その他の呼吸器障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J98 その他の呼吸器障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.2 最大減少幅: -20.5</p>
108	K12 口内炎及び関連病変	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K12 口内炎及び関連病変 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.0 最大減少幅: -12.2</p>
109	K21 胃食道逆流症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K21 胃食道逆流症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.7 最大減少幅: -17.3</p>
110	K25 胃潰瘍	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): K25 胃潰瘍 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.7 最大減少幅: -19.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
111	K29 胃炎及び十二指腸炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.8 最大減少幅: -14.1</p>
112	K35 急性虫垂炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K35 急性虫垂炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K35 急性虫垂炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -2.0 最大減少幅: -9.1</p>
113	K56 麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K56 麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K56 麻痺性イレウス及び腸閉塞、ヘルニアを伴わないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -17.3</p>
114	K59 その他の腸の機能障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.8 最大減少幅: -11.5</p>
115	K63 腸のその他の疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K63 腸のその他の疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.5 最大減少幅: -26.6</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
116	K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K64 痔核及び肛門周囲静脈血栓症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.2 最大減少幅: -13.5</p>
117	K65 腹膜炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K65 腹膜炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K65 腹膜炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.3 最大減少幅: -28.8</p>
118	K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K73 慢性肝炎, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.4 最大減少幅: -14.6</p>
119	K76 その他の肝疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K76 その他の肝疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K76 その他の肝疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.4 最大減少幅: -12.8</p>
120	K80 胆石症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K80 胆石症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K80 胆石症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.4 最大減少幅: -16.8</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
121	K83 胆道のその他の疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K83 胆道のその他の疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K83 胆道のその他の疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.1 最大減少幅: -16.4</p>
122	K92 消化器系のその他の疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K92 消化器系のその他の疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):K92 消化器系のその他の疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.4 最大減少幅: -13.6</p>
123	L03 蜂巣炎<蜂窩織炎>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L03 蜂巣炎<蜂窩織炎> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.4 最大減少幅: -30.4</p>
124	L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L08 皮膚及び皮下組織のその他の局所感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.4 最大減少幅: -5.3</p>
125	L20 アトピー性皮膚炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L20 アトピー性皮膚炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.4 最大減少幅: -14.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
126	L22 おむつ・ナプキン>皮膚炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L22 おむつ・ナプキン>皮膚炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L22 おむつ・ナプキン>皮膚炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
127	L25 詳細不明の接触皮膚炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L25 詳細不明の接触皮膚炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L25 詳細不明の接触皮膚炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
128	L27 摂取物質による皮膚炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L27 摂取物質による皮膚炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L27 摂取物質による皮膚炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
129	L29 そう<搔>痒症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L29 そう<搔>痒症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L29 そう<搔>痒症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
130	L30 その他の皮膚炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L30 その他の皮膚炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) :L30 その他の皮膚炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
131	L50 じんま<蕁麻疹>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L50 じんま<蕁麻疹>入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L50 じんま<蕁麻疹>入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.6 最大減少幅: -26.8</p>
132	L70 ざ瘡<アクネ>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡<アクネ>入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L70 ざ瘡<アクネ>入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.9 最大減少幅: -16.9</p>
133	L85 その他の表皮肥厚	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L85 その他の表皮肥厚入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.3 最大減少幅: -6.8</p>
134	L89 じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L89 じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L89 じょく<褥>瘡性潰瘍及び圧迫領域入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.9 最大減少幅: -16.6</p>
135	L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):L98 皮膚及び皮下組織のその他の障害, 他に分類されないもの入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 1.6 最大減少幅: -9.1</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
136	M06 その他の関節リウマチ	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M06 その他の関節リウマチ 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M06 その他の関節リウマチ 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.5 最大減少幅: -21.4</p>
137	M16 股関節症 [股関節部の関節症]	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M16 股関節症[股関節部の関節症] 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M16 股関節症[股関節部の関節症] 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.5 最大減少幅: -33.1</p>
138	M17 膝関節症 [膝の関節症]	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症[膝の関節症] 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M17 膝関節症[膝の関節症] 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.9 最大減少幅: -23.3</p>
139	M24 その他の明示された関節内障	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M24 その他の明示された関節内障 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M24 その他の明示された関節内障 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.1 最大減少幅: -23.2</p>
140	M25 その他の関節障害、他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M25 その他の関節障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.3 最大減少幅: -24.5</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
141	M41 (脊柱) 側弯 (症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M41 (脊柱)側弯 (症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M41 (脊柱)側弯 (症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -0.4 最大減少幅: -11.4</p>
142	M47 脊椎症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M47 脊椎症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M47 脊椎症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.1 最大減少幅: -21.2</p>
143	M48 その他の脊椎障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M48 その他の脊椎障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M48 その他の脊椎障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.5 最大減少幅: -21.7</p>
144	M51 その他の椎間板障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M51 その他の椎間板障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M51 その他の椎間板障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.2 最大減少幅: -18.2</p>
145	M54 背部痛	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):M54 背部痛 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.2 最大減少幅: -10.7</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
146	M62 その他の筋障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M62 その他の筋障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M62 その他の筋障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.6 最大減少幅: -16.0</p>
147	M75 肩の傷害<損傷>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害<損傷> 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M75 肩の傷害<損傷> 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 4.0 最大減少幅: -12.0</p>
148	M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M79 その他の軟部組織障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.8 最大減少幅: -24.0</p>
149	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>, 病的骨折を伴わないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -11.8</p>
150	N13 閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N13 閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N13 閉塞性尿路疾患及び逆流性尿路疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.2 最大減少幅: -18.1</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
151	N17 急性腎不全	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N17 急性腎不全 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N17 急性腎不全 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -22.7 最大減少幅: -32.2</p>
152	N18 慢性腎臓病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N18 慢性腎臓病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N18 慢性腎臓病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.7 最大減少幅: -18.3</p>
153	N19 詳細不明の腎不全	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N19 詳細不明の腎不全 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N19 詳細不明の腎不全 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -15.2 最大減少幅: -28.0</p>
154	N20 腎結石及び尿管結石	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N20 腎結石及び尿管結石 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N20 腎結石及び尿管結石 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.8 最大減少幅: -16.8</p>
155	N28 腎及び尿管の その他の障害、他 に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管の その他の障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013):N28 腎及び尿管の その他の障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.9 最大減少幅: -12.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
156	N30 膀胱炎	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N30 膀胱炎 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -13.6</p>
157	N31 神経因性膀胱 (機能障害), 他 に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N31 神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N31 神経因性膀胱(機能障害), 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.6 最大減少幅: -13.2</p>
158	N39 尿路系のその 他の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N39 尿路系のその他の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N39 尿路系のその他の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.8 最大減少幅: -10.8</p>
159	N40 前立腺肥大 (症)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N40 前立腺肥大(症) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N40 前立腺肥大(症) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -14.4</p>
160	N76 膣及び外陰の その他の炎症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N76 膣及び外陰のその他の炎症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.6 最大減少幅: -23.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
161	N80 子宮内膜症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N80 子宮内膜症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
162	O14 子かん<癩>前症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O14 子かん<癩>前症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O14 子かん<癩>前症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
163	O20 妊娠早期の出血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O20 妊娠早期の出血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
164	O23 妊娠中の腎尿路性器感染症	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O23 妊娠中の腎尿路性器感染症 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O23 妊娠中の腎尿路性器感染症 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
165	O24 妊娠中の糖尿病	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O24 妊娠中の糖尿病 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O24 妊娠中の糖尿病 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
166	O30 多胎妊娠	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O30 多胎妊娠 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O30 多胎妊娠 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.9 最大減少幅: -19.4</p>
167	O32 既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O32 既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O32 既知の胎位異常又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.2 最大減少幅: -17.0</p>
168	O34 既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O34 既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O34 既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.3 最大減少幅: -9.1</p>
169	O36 その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O36 その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O36 その他の既知の胎児側の問題又はその疑いのための母体ケア 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.0 最大減少幅: -15.9</p>
170	O41 羊水及び羊膜のその他の障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O41 羊水及び羊膜のその他の障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O41 羊水及び羊膜のその他の障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.6 最大減少幅: -21.2</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
171	O42 前期破水	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O42 前期破水 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O42 前期破水 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:1.2 最大減少幅:-4.2</p>
172	O60 切迫早産及び 早産	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O60 切迫早産及び早産 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-16.2 最大減少幅:-28.3</p>
173	O62 娩出力の異常	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O62 娩出力の異常 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O62 娩出力の異常 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:0.5 最大減少幅:-4.8</p>
174	O72 分娩後出血	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O72 分娩後出血 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O72 分娩後出血 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:3.0 最大減少幅:-0.9</p>
175	O82 帝王切開による 単胎分娩	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O82 帝王切開による 単胎分娩 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O82 帝王切開による 単胎分娩 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:-5.5 最大減少幅:-15.4</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
176	O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : O99 他に分類されるが妊娠、分娩及び産じょく<褥>に合併するその他の母体疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.3 最大減少幅: -17.7</p>
177	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.0 最大減少幅: -58.9</p>
178	P21 出生時仮死	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P21 出生時仮死 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P21 出生時仮死 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.0 最大減少幅: -63.1</p>
179	P22 新生児の呼吸窮<促>迫	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P22 新生児の呼吸窮<促>迫 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P22 新生児の呼吸窮<促>迫 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -11.4 最大減少幅: -61.9</p>
180	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.1 最大減少幅: -56.9</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
181	P53 胎児及び新生児の出血性疾患	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P53 胎児及び新生児の出血性疾患 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P53 胎児及び新生児の出血性疾患 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -14.4 最大減少幅: -56.1</p>
182	P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.3 最大減少幅: -56.0</p>
183	P61 その他の周産期の血液障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P61 その他の周産期の血液障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P61 その他の周産期の血液障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -13.6 最大減少幅: -69.4</p>
184	P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.3 最大減少幅: -53.7</p>
185	Q21 心(臓)中隔の先天奇形	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -18.4 最大減少幅: -36.7</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
186	Q25 大型動脈の先天奇形	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q25 大型動脈の先天奇形 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q25 大型動脈の先天奇形 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.9 最大減少幅: -56.9</p>
187	R00 心拍の異常	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R00 心拍の異常 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R00 心拍の異常 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.7 最大減少幅: -13.6</p>
188	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.2 最大減少幅: -9.7</p>
189	R10 腹痛及び骨盤痛	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R10 腹痛及び骨盤痛 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.7 最大減少幅: -18.7</p>
190	R11 悪心及び嘔吐	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.7 最大減少幅: -11.8</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
191	R13 えん<嚥>下障害	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R13 えん<嚥>下障害 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R13 えん<嚥>下障害 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -5.4 最大減少幅: -10.1</p>
192	R14 鼓腸及び関連病態	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R14 鼓腸及び関連病態 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R14 鼓腸及び関連病態 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.9 最大減少幅: -9.0</p>
193	R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -1.8 最大減少幅: -9.3</p>
194	R40 傾眠, 昏迷及び昏睡	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R40 傾眠, 昏迷及び昏睡 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R40 傾眠, 昏迷及び昏睡 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -9.1 最大減少幅: -16.3</p>
195	R47 言語の障害, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R47 言語の障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R47 言語の障害, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.4 最大減少幅: -13.4</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
196	R50 その他の原因による熱及び不明熱	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R50 その他の原因による熱及び不明熱 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
197	R51 頭痛	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R51 頭痛 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
198	R52 疼痛, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R52 疼痛, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
199	R57 ショック, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R57 ショック, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R57 ショック, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>
200	R60 浮腫, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R60 浮腫, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R60 浮腫, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
201	R63 食物及び水分 摂取に関する症状 及び徴候	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -7.5 最大減少幅: -15.1</p>
202	S06 頭蓋内損傷	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S06 頭蓋内損傷 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S06 頭蓋内損傷 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.2 最大減少幅: -9.4</p>
203	S32 腰椎及び骨盤 の骨折	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S32 腰椎及び骨盤の骨折 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S32 腰椎及び骨盤の骨折 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -17.0 最大減少幅: -35.8</p>
204	S42 肩及び上腕の 骨折	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S42 肩及び上腕の骨折 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S42 肩及び上腕の骨折 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.8 最大減少幅: -27.7</p>
205	S72 大腿骨骨折	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S72 大腿骨骨折 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S72 大腿骨骨折 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.2 最大減少幅: -24.3</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
206	S82 下腿の骨折、足首を含む	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S82 下腿の骨折, 足首を含む 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S82 下腿の骨折, 足首を含む 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.3 最大減少幅: -30.1</p>
207	S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : S83 膝の関節及び靭帯の脱臼, 捻挫及びストレイン 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -17.4 最大減少幅: -34.2</p>
208	T14 部位不明の損傷	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T14 部位不明の損傷 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -10.6 最大減少幅: -22.3</p>
209	T81 処置の合併症, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T81 処置の合併症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T81 処置の合併症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -4.8 最大減少幅: -17.3</p>
210	T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T88 外科的及び内科的ケアのその他の合併症, 他に分類されないもの 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -3.6 最大減少幅: -14.0</p>

時系列グラフ

医科・DPC ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
211	Z93 人工的開口状態	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Z93 人工的開口状態 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>延べ患者数(人/100万人日)</p> <p>時期(1～9月、月次)</p> <p>年</p> <ul style="list-style-type: none"> 2020年 2019年 2018年 2017年 2016年 2015年 <p>緊急事態宣言 の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Z93 人工的開口状態 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>対前年同月比(%)</p> <p>時期(2020年1～9月、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積:2.3 最大減少幅:-0.8</p> <p>緊急事態宣言 の該当期間</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
1	P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P07 妊娠期間短縮及び低出産体重に関連する障害、他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.8 最大減少幅：-59.0</p>
2	K59 その他の腸の機能障害(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K59 その他の腸の機能障害(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.8 最大減少幅：-16.5</p>
3	P22 新生児の呼吸窮<促>迫(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P22 新生児の呼吸窮<促>迫(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P22 新生児の呼吸窮<促>迫(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-10.3 最大減少幅：-61.4</p>
4	J45 喘息(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J45 喘息(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-37.4 最大減少幅：-53.4</p>
5	G40 てんかん(年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G40 てんかん(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-15.6 最大減少幅：-24.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
6	D50 鉄欠乏性貧血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D50 鉄欠乏性貧血(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.1 最大減少幅：-45.4</p>
7	P21 出生時仮死 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P21 出生時仮死(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P21 出生時仮死(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.0 最大減少幅：-63.6</p>
8	J96 呼吸不全，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全，他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J96 呼吸不全，他に分類されないもの(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-23.2 最大減少幅：-39.5</p>
9	L85 その他の表皮肥厚 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L85 その他の表皮肥厚(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：0.8 最大減少幅：-8.7</p>
10	J20 急性気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移(2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間(2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J20 急性気管支炎(年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-58.3 最大減少幅：-80.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
11	P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P59 その他及び詳細不明の原因による新生児黄疸 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-8.1 最大減少幅：-55.3</p>
12	L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L30 その他の皮膚炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.7 最大減少幅：-12.1</p>
13	E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E86 体液量減少 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-40.5 最大減少幅：-58.0</p>
14	G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G47 睡眠障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-3.3 最大減少幅：-11.7</p>
15	P61 その他の周産期の血液障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P61 その他の周産期の血液障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P61 その他の周産期の血液障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.5 最大減少幅：-69.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
16	J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J18 肺炎, 病原体不詳 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-46.9 最大減少幅：-69.5</p>
17	A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A09 その他の胃腸炎及び大腸炎, 感染症及び詳細不明の原因によるもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-31.7 最大減少幅：-49.6</p>
18	I50 心不全 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I50 心不全 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.0 最大減少幅：-31.1</p>
19	Q25 大型動脈の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q25 大型動脈の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q25 大型動脈の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-17.8 最大減少幅：-58.9</p>
20	P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P70 胎児及び新生児に特異的な一過性糖質代謝障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.2 最大減少幅：-53.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
21	J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J30 血管運動性鼻炎及びアレルギー性鼻炎<鼻アレルギー> (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-20.2 最大減少幅：-35.8</p>
22	E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E87 その他の体液、電解質及び酸塩基平衡障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-15.8 最大減少幅：-28.2</p>
23	G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G80 脳性麻痺 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.8 最大減少幅：-18.9</p>
24	P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P28 周産期に発生したその他の呼吸器病態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-6.9 最大減少幅：-56.3</p>
25	P53 胎児及び新生児の出血性疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P53 胎児及び新生児の出血性疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P53 胎児及び新生児の出血性疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.2 最大減少幅：-55.5</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
26	K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K29 胃炎及び十二指腸炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-5.0 最大減少幅：-12.4</p>
27	Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : Q21 心(臓)中隔の先天奇形 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.4 最大減少幅：-37.3</p>
28	K21 胃食道逆流症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K21 胃食道逆流症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.4 最大減少幅：-16.2</p>
29	K25 胃潰瘍 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K25 胃潰瘍 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-7.8 最大減少幅：-18.0</p>
30	H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H10 結膜炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.4 最大減少幅：-30.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
31	L22 おむつ＜ナプキン＞皮膚炎（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L22 おむつ＜ナプキン＞皮膚炎（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L22 おむつ＜ナプキン＞皮膚炎（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-8.4 最大減少幅：-26.0</p>
32	D69 紫斑病及びその他の出血性病態（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D69 紫斑病及びその他の出血性病態（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-16.8 最大減少幅：-27.8</p>
33	A49 部位不明の細菌感染症（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A49 部位不明の細菌感染症（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.8 最大減少幅：-44.3</p>
34	R11 悪心及び嘔吐（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R11 悪心及び嘔吐（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.7 最大減少幅：-26.0</p>
35	L20 アトピー性皮膚炎（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L20 アトピー性皮膚炎（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.0 最大減少幅：-27.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級: 0~14歳)

No	分類	各年1~9月の推移図 (2015~2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
36	J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J42 詳細不明の慢性気管支炎 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -12.2 最大減少幅: -26.9</p>
37	E55 ビタミンD欠乏症 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E55 ビタミンD欠乏症 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E55 ビタミンD欠乏症 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -15.8 最大減少幅: -63.9</p>
38	H35 その他の網膜障害 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): H35 その他の網膜障害 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -16.2 最大減少幅: -65.2</p>
39	Z93 人工的開口状態 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): Z93 人工的開口状態 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -8.1 最大減少幅: -18.5</p>
40	E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害 (年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移 (2015~2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E71 側鎖<分枝鎖>アミノ酸代謝及び脂肪酸代謝障害 (年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 3.7 最大減少幅: -7.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
41	G93 脳のその他の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G93 脳のその他の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : G93 脳のその他の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-20.2 最大減少幅：-35.6</p>
42	J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J06 多部位及び部位不明の急性上気道感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-45.5 最大減少幅：-63.9</p>
43	R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R63 食物及び水分摂取に関する症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-16.4 最大減少幅：-25.7</p>
44	R13 えん<嚥>下障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R13 えん<嚥>下障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R13 えん<嚥>下障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.6 最大減少幅：-23.1</p>
45	D64 その他の貧血 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D64 その他の貧血 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.1 最大減少幅：-33.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級: 0~14歳)

No	分類	各年1~9月の推移図 (2015~2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
46	R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移(2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): R56 けいれん<痙攣>, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -33.5 最大減少幅: -48.9</p>
47	E88 その他の代謝障害(年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E88 その他の代謝障害(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移(2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E88 その他の代謝障害(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -6.1 最大減少幅: -22.2</p>
48	J02 急性咽頭炎(年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移(2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): J02 急性咽頭炎(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -33.6 最大減少幅: -50.8</p>
49	R57 ショック, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): R57 ショック, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移(2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): R57 ショック, 他に分類されないもの(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: -17.5 最大減少幅: -37.7</p>
50	E83 ミネラル<鉍質>代謝障害(年齢階級: 0~14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル<鉍質>代謝障害(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 各年1~9月の推移(2015~2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013): E83 ミネラル<鉍質>代謝障害(年齢階級: 0~14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移(2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積: 0.5 最大減少幅: -23.4</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
51	A41 その他の敗血症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A41 その他の敗血症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : A41 その他の敗血症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-24.2 最大減少幅：-43.4</p>
52	M30 結節性多発(性)動脈炎及び関連病態 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M30 結節性多発(性)動脈炎及び関連病態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M30 結節性多発(性)動脈炎及び関連病態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-33.9 最大減少幅：-47.9</p>
53	E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E03 その他の甲状腺機能低下症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.8 最大減少幅：-29.6</p>
54	R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R09 循環器系及び呼吸器系に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-20.0 最大減少幅：-33.5</p>
55	E56 その他のビタミン欠乏症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E56 その他のビタミン欠乏症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E56 その他のビタミン欠乏症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：3.9 最大減少幅：-26.7</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
56	P39 周産期に特異的なその他の感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P39 周産期に特異的なその他の感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P39 周産期に特異的なその他の感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.9 最大減少幅：-59.0</p>
57	F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F82 運動機能の特異的発達障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-19.8 最大減少幅：-46.2</p>
58	I27 その他の肺性心疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I27 その他の肺性心疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I27 その他の肺性心疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-21.8 最大減少幅：-39.5</p>
59	N39 尿路系のその他の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N39 尿路系のその他の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : N39 尿路系のその他の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-11.0 最大減少幅：-35.8</p>
60	D68 その他の凝固障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D68 その他の凝固障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-5.3 最大減少幅：-33.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
61	F50 摂食障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F50 摂食障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F50 摂食障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.2 最大減少幅：-25.0</p>
62	K76 その他の肝疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K76 その他の肝疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.4 最大減少幅：-36.9</p>
63	T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T78 有害作用, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-15.3 最大減少幅：-42.0</p>
64	F20 統合失調症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F20 統合失調症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.1 最大減少幅：-18.9</p>
65	J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J15 細菌性肺炎, 他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-47.6 最大減少幅：-74.9</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
66	B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B59 ニューモシスチス症 (J17.3*) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
67	B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B34 部位不明のウイルス感染症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
68	I10 本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : I10 本態性 (原発性<一次性>) 高血圧 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
69	R79 その他の血液化学的異常所見 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R79 その他の血液化学的異常所見 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R79 その他の血液化学的異常所見 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
70	J46 喘息発作重積状態 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J46 喘息発作重積状態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J46 喘息発作重積状態 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
71	F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F84 広汎性発達障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-4.5 最大減少幅：-9.1</p>
72	D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D80 主として抗体欠乏を伴う免疫不全症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-16.3 最大減少幅：-44.7</p>
73	J98 その他の呼吸器障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J98 その他の呼吸器障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J98 その他の呼吸器障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-9.7 最大減少幅：-37.8</p>
74	M41 (脊柱) 側弯 (症) (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M41 (脊柱) 側弯 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M41 (脊柱) 側弯 (症) (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：8.5 最大減少幅：-10.1</p>
75	R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R62 身体標準発育不足 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-14.9 最大減少幅：-32.6</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
76	H04 涙器の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H04 涙器の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-5.9 最大減少幅：-20.1</p>
77	D70 無顆粒球症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D70 無顆粒球症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.0 最大減少幅：-35.7</p>
78	P92 新生児の哺乳上の問題 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P92 新生児の哺乳上の問題 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P92 新生児の哺乳上の問題 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.1 最大減少幅：-48.9</p>
79	P29 周産期に発生した心血管障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P29 周産期に発生した心血管障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P29 周産期に発生した心血管障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-21.0 最大減少幅：-56.9</p>
80	B48 その他の真菌症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B48 その他の真菌症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B48 その他の真菌症、他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-7.7 最大減少幅：-30.1</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
81	J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J40 気管支炎，急性又は慢性と明示されないもの（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-31.3 最大減少幅：-57.6</p>
82	E16 その他の膵内分泌障害（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E16 その他の膵内分泌障害（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : E16 その他の膵内分泌障害（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-24.5 最大減少幅：-46.6</p>
83	M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>，病的骨折を伴わないもの（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>，病的骨折を伴わないもの（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M81 骨粗しょう<鬆>症<オステオポロシス>，病的骨折を伴わないもの（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-13.0 最大減少幅：-22.9</p>
84	K12 口内炎及び関連病変（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K12 口内炎及び関連病変（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : K12 口内炎及び関連病変（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：8.0 最大減少幅：-9.0</p>
85	F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>（年齢階級：0～14歳）	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 各年1～9月の推移（2015～2020年、月次）</p> <p>緊急事態宣言の該当期間（2020年）</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : F79 詳細不明の知的障害<精神遅滞>（年齢階級：0～14歳） 入院延べ患者数 対前年同月比の推移（2020年、月次）</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-2.0 最大減少幅：-15.3</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
86	J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J35 扁桃及びアデノイドの慢性疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-37.0 最大減少幅：-60.3</p>
87	T81 処置の合併症，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T81 処置の合併症，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : T81 処置の合併症，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-3.9 最大減少幅：-16.6</p>
88	H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H52 屈折及び調節の障害 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-3.6 最大減少幅：-13.1</p>
89	J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J12 ウイルス肺炎，他に分類されないもの (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-74.7 最大減少幅：-96.7</p>
90	D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : D65 播種性血管内凝固症候群 [脱線維素症候群] (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-18.0 最大減少幅：-38.0</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
91	P36 新生児の細菌性敗血症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P36 新生児の細菌性敗血症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P36 新生児の細菌性敗血症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
92	M24 その他の明示された関節内障 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M24 その他の明示された関節内障 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : M24 その他の明示された関節内障 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
93	B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : B37 カンジダ症 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
94	L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : L50 じんま<蕁麻疹> (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>
95	C91 リンパ性白血病 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C91 リンパ性白血病 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : C91 リンパ性白血病 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p>

時系列グラフ

医科 ICD-10 (ver.2013) 別 入院延べ患者数 Top100 (年齢階級：0～14歳)

No	分類	各年1～9月の推移図 (2015～2020年、月次)	対前年同月比 (2020年、月次)
96	R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : R19 消化器系及び腹部に関するその他の症状及び徴候 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：4.2 最大減少幅：-3.7</p>
97	P01 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P01 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : P01 母体の妊娠合併症により影響を受けた胎児及び新生児 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-12.9 最大減少幅：-58.3</p>
98	H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : H66 化膿性及び詳細不明の中耳炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-61.7 最大減少幅：-78.7</p>
99	J39 上気道のその他の疾患 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J39 上気道のその他の疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J39 上気道のその他の疾患 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-22.9 最大減少幅：-39.3</p>
100	J21 急性細気管支炎 (年齢階級：0～14歳)	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J21 急性細気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 各年1～9月の推移 (2015～2020年、月次)</p> <p>緊急事態宣言の該当期間 (2020年)</p>	<p>[医科・DPC] ICD-10(ver.2013) : J21 急性細気管支炎 (年齢階級：0～14歳) 入院延べ患者数 対前年同月比の推移 (2020年、月次)</p> <p>【対前年同月比(%)】 9月時点累積：-82.9 最大減少幅：-99.1</p>